

【はじめに】

感覚統合とは、人が周囲の環境や身体の内部からの様々な感覚刺激を受け、その情報を無意識に整理して脳へ送り、環境に適した反応を導き出す過程のことです。

感覚統合に問題があると感覚刺激が正しく脳に伝わらないため、ジャンプや走るなどの大きく体を動かす運動や、はさみやお絵かきなどの手先を使った細かな作業が上手くできないことがあります。また、多動・注意散漫などの行動がみられることもあります。

感覚統合療法では、感覚刺激に対して適切な反応を導き出すために、その子にあった感覚刺激を調整しながら提供し、子どもが主体となり楽しむことのできる遊びから、感覚を統合させ、様々な機能の発達を促します。学習障害や重症心身障害など、発達の遅れをもつ子どもたちに対する援助法として広く活用されています。

今回の研修会では、感覚統合療法の基礎的な知識とアプローチ方法をわかりやすくご紹介します。日常の療育の現場でお役立ていただきたく、研修会をご案内いたします。ぜひ、ご参加ください。

【実施要綱】

- 日時 平成24年2月25日(土)・26日(日) (両日とも)AM10:00~PM4:30
- 場所 子ども発達支援センター・さんだ 兵庫県三田市井ノ草808
- 講師 姫路獨協大学 医療保健学部 作業療学科教授 太田篤志先生
- 対象 特別支援学校(養護学校)・障害児学級教諭、幼稚園教諭、保育士、指導員等の療育関係者
- 定員 70名 ※定員に達した場合は受講をお断りすることがあります。ご了承ください。
- 受講料 16,000円(税込)
- 研修会の主な内容
 - * (学習障害児・自閉症・広汎性発達障害などを含む)発達障害全般について
 - * 感覚統合理論の基礎:脳の話
 - * 感覚統合理論からみた対象と障害の理解
 - * 感覚統合評価の実際
 - * 感覚統合療法の実際

----- 切り取り線 -----

第186回療育研修会受講申込書「感覚統合療法の理論と実際」 No. _____

ふりがな		〒 ご自宅住所	〒 TEL() - _____ FAX() - _____
氏名	①		
勤務先名			
職種			
経験年数		ご連絡先	勤務先 ・ ご自宅
勤務先住所	〒	宿泊リスト	要 ・ 不要
	TEL() - _____	会場への 交通手段	自家用車 ・ 公共交通機関等
	FAX() - _____		

※JR「新三田駅」から会場までの交通手段を私どもで手配します。利用をご希望の方は、上記の申込書の「会場への交通手段」の欄の、「公共交通機関等」のところに○をお付け下さい。実費をご負担頂きます(往復900円程度)。

【講師のご紹介】

太田 篤志 先生

姫路獨協大学教授。日本作業療法士協会認定作業療法士。長崎大学医療技術短期大学部作業療法学科卒。広島大学大学院医学系研究科修士課程修了。作業療法士資格を取得後、保育園へ勤務し障害児と健常児の統合保育・学童保育等を実践する傍ら、感覚統合理論、保育理論などを学ぶ。その後、重症心身障害児施設へ勤務し最重度知的障害児に対するリハビリテーションを実施。専門は、軽度発達障害児の感覚運動評価開発、自閉症児に対する作業療法、感覚統合理論を応用した療育、重度知的障害に対するスヌーズレン等。日本感覚統合学会常任理事。日本スヌーズレン協会理事。

【今年度内の研修会のご案内】

第186回 療育研修会 『感覚統合理論を用いた実践的な支援』

日時； 平成24年3月3日(土) AM10:00～PM4:00 場所； 子ども発達支援センター・さんだ

対象； 感覚統合療法入門講習会 基礎コースを受講された療育関係者 50名

【お申し込み方法】

受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて下記の申し込み先にお送りください。折り返し、受講決定通知・ご案内・受講費振り込みのための郵便振替用紙等を送付いたします。

◆申し込み締切日◆

平成24年2月3日(金) 必着

◆お申込み・お問い合わせ先◆

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団 「第186回療育研修会」係

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 5-1-1 神戸山手大木ビル 2階

FAX(078)371-0966 TEL(078)382-0294 *業務の都合上お問い合わせは FAX をお願いいたします。

第186回 療育研修会

『感覚統合療法の理論と実際』

第24回感覚統合療法入門講習会

基礎コース

主催 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

後援 日本感覚統合学会